

第12期Bコース（カナダ ブリティッシュコロンビア州）出発レポート

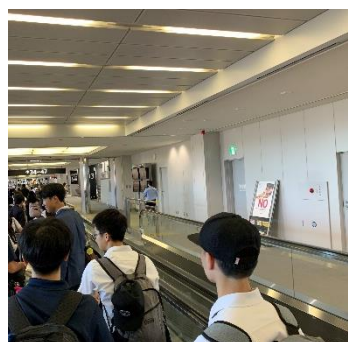
□ 留学に向けて出発

令和6年8月26日（月）、第12期Bコースの研修生20人がカナダのブリティッシュコロンビア州への留学に向けて出発しました。成田空港では、東京都教職員研修センターの職員から「留学生活中に起こることを常に前向きに捉えること」や「東京都の代表としての自覚をもつこと」など、留学生活に向けた激励のメッセージが送られました。

出発当日はフライトの出発時刻が1時間遅れるなどの急な変更がありましたが、研修生たちは落ち着いた様子で対応していました。多くの保護者の温かい見送りを受け、期待を胸にバンクーバー行きの飛行機に乗り込みました。



＜激励を受ける研修生たち＞



＜搭乗口へ向かう研修生たち＞

□ カナダ到着

約9時間のフライトを経て、ブリティッシュコロンビア州バンクーバーに到着しました。バンクーバー空港からはフェリーで約2時間移動し、バンクーバー島ナナイモ地区に到着しました。入国審査ではやや時間がかかりましたが、全員無事に通過しました。研修生たちは疲れた様子も見せず、期待に満ちた表情でオリエンテーションに臨みました。



＜バンクーバー到着＞



＜荒天の中、バンクーバー島へ＞

□到着オリエンテーション

到着後、現地受入機関による2日間のオリエンテーションが実施されました。オリエンテーションでは、現地での生活に早く慣れるための課題やロールプレイなどを通じて、実践的なアクティビティが行われました。研修生たちはホームステイ先での過ごし方や現地での安全ルールについて学び、留学生活のスタート準備を整えました。



＜アイスブレイク・アクティビティ＞



＜ロールプレイ・アクティビティ＞

また、オリエンテーション最終日には、オリエンテーション会場から歩いて2、3分のところにあるナナイモ博物館を訪問しました。博物館では、企画展として戦時中および戦後の日系人の生活や、カナダ政府による不当な扱いについての展示が行われていました。また、カナダの日系人野球チームであるバンクーバー朝日軍の選手が使っていたグローブや試合のチケット、当時の日記などの実物が展示されており、日系人が所有していた土地が安値で売られてしまった事例なども紹介されていました。研修生たちは展示品に興味深く見ていました。

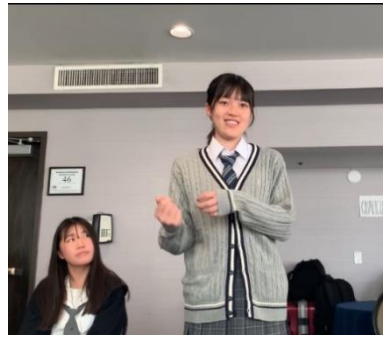


＜ナナイモ博物館にて＞



＜一つ一つの展示品に興味深く見る研修生たち＞

オリエンテーションの最後には、全員が英語で留学生活に向けた決意表明を行い、「カナダや日本の相互理解のためにホストファミリーや学校で積極的にコミュニケーションをとりたい」、「語学力をさらに向上させたい」といった熱い思いを語りました。



<留学生活に向けた決意表明を行う研修生たち>

□ ホストファミリーとの対面

オリエンテーション終了後、研修生たちは待ちに待ったホストファミリーとの対面を果たしました。バンクーバー島の北方ルート、サンシャインコーストルート、ヴィクトリアルートの3方向に分かれてバスやフェリーでホストファミリー宅へ向かいました。移動中のバス内は緊張感が漂っていましたが、ホストファミリーとの出会いによって一気に和やかな雰囲気になりました。温かい抱擁や握手で迎えられた研修生たちは、すぐに和やかに迎えに来たホストファミリーとコミュニケーションをとり、笑顔で各ステイ先へ向かいました。

これからの約11か月間、研修生たちはホームステイをしながら現地校に通い、日本ではなかなか味わえない多くの体験を積み重ねていきます。困難な場面にも直面するかもしれませんが、事前研修で学んだことを生かし、自らの力で課題を乗り越え、成長した姿で帰国することを心より期待しています。



<暖かいホストファミリーに迎えらるる研修生たち>